

# 長野 りんどう

2026.5  
No.72

発行／社会福祉法人長野りんどう会  
ライフサポートりんどう  
発行責任者／松橋良三  
〒381-0041 長野市徳間 3222  
TEL 026-239-7077  
FAX 026-239-7070  
<https://nagano-rindou.jp>  
E-mail:l.s.r@bg.wakwak.com



スローステップが  
令和7年度をもって  
閉所となりました。



理念

私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉の推進に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。

# 文化祭を開催しました

令和7年11月21日（金）文化祭を開催しました。  
作品展示の他、マジックショー、ハンドベルの演奏、ピアノ演奏などのステージ発表もあり、楽しい一日となりました。  
この時の様子は、長野市民新聞にも掲載されました。



お昼ご飯は、いつもより少し豪華なお弁当が出ました。



# のど自慢

のど自慢では、審査員が審査を行い、4名の方にトロフィーが送られました。

- ・ベストりんどう賞…シンプルに歌が上手な方に送られます。
  - ・ワイワイ賞…どれくらい観客との一体感を感じたかが採点のポイントです。
  - ・にこにこ賞…ご本人が楽しそうだったり、いい表情をしているな、というところが採点のポイントになります。
  - ・じんわり賞…どれほど心に沁みかたが採点のポイントになります。
- 受賞者の方にインタビューをしました。



## 【ベストりんどう賞】

第2回ののど自慢大会で優勝できてうれしいです。五木ひろしの「夜明けのブルース」です。この歌の「秘密にできるの誰れにも言わずに」が初めて聞いた時、ジーンとききました。弱い僕には秘密はありません、したくとも出来ません。すてきな女性だなあ—と思ったんです。以前、りんりんりんど—ずで歌っていたので少しもあがらずに出来、久しぶりだなあ—と思いました。出場者の皆さん、本当にありがとうございました。また歌います。`最高—!、



## 【にこにこ賞】

出場出来て楽しかったし、賞も取れて良かった。また、次回も出場したいです。



## 【ワイワイ賞】

スタッフ・メンバー合わせて約80名の前で約3分ですが自分を「おどるぼんぼこりん」という曲でアピールできてうれしかったです。

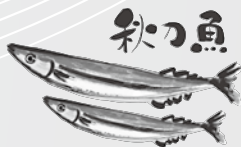


## 【じんわり賞】

のびのび歌うことができて楽しかったです。賞も取ることができて嬉しかったです。

文化祭、のど自慢の様子は、長野市民新聞にも掲載され、良い思い出になりました。

# グループホーム企画 大漁!! さんま祭りを行いました



西澤事務長が  
さんまの塩振りと  
焼き係をしてくださいました!!



当日は雨でしたが  
雨にも負けず!  
いい焼き色になるまで  
待ってます。



豚汁を作っている様子!  
実習生さんも手伝って  
くれました。



昨年の10月16日さんま祭りを開催しました。グループホームの皆さんの食べたいと希望があった焼き魚! 昨年は大漁だったさんまを炭で焼いて食べました。骨の心配もありましたが、そんな心配もご無用!! きれいに骨を取って召上がりました。豚汁も付けておいしい夕食になりました。好評につき11月はサバ&けんちん汁祭りを行いました。



# 生！戸隠そば手打ち実演会

地域でご活躍の峰村博氏（全麺協そば道5段位）をお願いをして、戸隠そばの手打ちの実演をしていただきました。

当日は多くの利用者や職員が参加し、専用の道具が台の上に並び始めると、みんな静かに見入っていました。粉末だったそば粉が、熟練の手つきと絶妙な水回しでそば玉（生地の塊）にまとまっていき、薄く均一に伸ばされていく様子は見事でした。戸隠の伝統的な技法では、そば玉を丸く伸ばして、細く切るようです。手早く切られてしやなかで美しい細い麺になっていく様に、思わず見入ってしまいました。水加減を状態に応じて変えたり、均一に伸ばしたり、細く切るのとはとても難しそうです。

そば打ちの実演後、実際に手打ちそばをいただきました。食べた方は「本格的でおいしかった」、「コシがあっておいしい」、「全然違う」などと感想を話していました。

本格的なそば打ちを間近で見ることができて、貴重な機会でした。



## 第1回地域連携推進会議開催

令和8年1月22日に地域連携推進会議を開催しました。グループホーム（こまざわハウス、いなだの家、のくとま〜）の担当地区民生児童委員3名、それぞれのグループホームの利用者3名、家族3名に参加いただきました。民生児童委員と家族の方に日頃の様子や行事の様子を写真で紹介し、実際にグループホーム内を見学しました。その後、民生児童委員の方と利用者、家族との意見交換をしました。

新たな試みでしたが民生児童委員の方に施設を知っていただき、利用者と家族の方の意見をうかがうことができ良い交流の場となりました。





# さよならスロ

## さよならスローステップ

スローステップは平成 15 年『地域生活支援センターのサテライト』として開所しました。平成 18 年に『地域活動支援センター』と名称が変わり、長きにわたって利用者の憩いの場所、気軽に立ち寄れる場、相談できる場としてあり続けましたが、令和 3 年度をもって地域活動支援センターとしては終了しました。その後スローステップの建物は『ゆったりんどう』として使ってきましたが、老朽化が激しく令和 7 年度をもって閉所する事になりました。

**こんなところで♪**  
地域活動支援センター  
**スローステップ**

障がいを抱えながら地域で生活される方々に  
利用していただく、通所型の支援センターです。

○上駒沢の高専北側にあります。  
○開館  
月・火・水 金 9:30 ~ 17:00  
木 9:30 ~ 15:00  
○電話相談  
月～金 9:30 ~ 17:00

**交流** (Buuu)  
利用者同士 おしゃべり  
したり、お茶を飲んだり  
ゲームをして楽しみながら  
交流します。  
入声や音楽、レク行事も  
皆で企画して行います。

**創作生産活動** (DooKAAA)  
木エヤぞうり作り、手芸編物  
など、曜日ごとに物づくりを行  
っています。  
作った物はバザーで販売して  
います。

**相談**  
悩みごとや就労生活上の  
相談をお受けします。  
自立支援法のサービス利用に  
ついてもお手伝いします。

**あせらず ゆくりと 一人ひとりの体調に合わせてご利用ください。**



# スローステップ

令和8年3月27日(金)

## スローステップさよなら会を開催しました

『スローステップさよなら会』では、はじめに理事長より今までのスローステップの歴史を伝えていただき、スローステップにゆかりのある利用者やボランティアさんから思い出を語ってもらいました。

木工教室で作った作品が賞をもらったこと、ミミコンサートでギターを披露したこと、たくさん楽しい行事があったことなどをお話ししてくださいました。

その後、お茶やお菓子をいただきながら、飾られた写真を見たり、過去のアルバムを見たり、昔の『りんどーず』の動画を観たりしながらさらに思い出を語り合い、最後に参加者全員で贈る言葉を歌って、会が終わりました。

想いで話がたくさんあって、ほっこりとしたさよなら会でした。



## スタッフ風間より

スローステップは、職員風間の原点でもあります。平成15年、まさにスローステップが開所した年に入职しました。

利用者さんと楽しむ事、話をする事、支援とは、など職員としてどうあるべきか、をたくさん学んだ場でもあります。

また人としても成長させてもらえた場所です。今の私があるのはスローステップのおかげです。

ありがとう、スローステップ。

## ●○○●新人紹介●○○●

名前：山口 <sup>やまぐち</sup> 善幸さん <sup>よしゆき</sup>

### ◇休みの日の過ごし方◇

映画を見たり、YouTube で動画を観て過ごす事が多いです。

### ◇好きな食べ物◇

蕎麦が好きです。長野は美味しい蕎麦が食べられるので、嬉しいです。

### ◇特技◇

ダーツ。

実は、ダーツは小さい子供さんからお年寄りまで楽しめるゲームなんです。いつか、皆さんと一緒にできればと思います。

### ◇ひとこと◇

福祉関係のお仕事は初めてなんですが、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



## 令和8年度 人事異動

### 1 異動

田村 郁雄 ワークス上駒  
高野 裕朗 フレッシュとくま  
小林 孝子 グループホーム  
小林 清美 ワークス上駒、てくてく  
下谷 泰憲 ワークス上駒

### 3 新規採用

山口 善幸 フレッシュとくま

### 2 施設長

小林 千佳子 てくてく  
風間 杏子 フレッシュとくま、相談  
北澤 純子 グループホーム、  
自立生活  
西澤 秀一 ワークス上駒(兼務)

### 4 退職 (令和8年3月31日付)

山崎 玲香 日中訓練、てくてく  
清水 絵里奈 ゆったりんどう  
前山 沙織 てくてく

### 編集後記

3月末でスローステップが閉鎖となり、今回はスローステップの記事を大きく掲載しました。この会報誌を見て懐かしい思いになった方も多いのではないのでしょうか。別れがあれば、新しい出会いもあります。色々な出会いやご縁を大切にしたいと、改めて感じる機会となりました。(一戸)